

令和5年度 第1回 恵那市障がい者計画・障がい福祉計画策定委員会 会議録

日時:令和5年7月19日(水) 午前11時5分～12時

場所:恵那市役所西庁舎3階災害対策室 AB

出席委員:伊佐地委員(委員長・会長) 横光委員 藤木委員 遠山委員 堀部委員 西尾委員  
樋田委員 坂井委員 加藤(健)委員 小川委員 三宅委員 山邊委員 加藤(信)委員  
水野委員

欠席委員:早川委員

事務局:恵那市福祉事務所長 所長 古山  
恵那市社会福祉課 課長 沼田  
恵那市社会福祉課 補佐兼係長 渡邊  
恵那市社会福祉課 総括主査 大島  
恵那市子育て支援課 担当係長 水野  
恵那市社協障がい者相談支援事業所 相談員 渡邊  
恵那たんぽぽ地域生活療育支援センター 相談員 青木  
(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 鈴木  
(株)ジャパンインターナショナル総合研究所 高田

- 内容: 1 開会  
2 議題  
(1)計画概要について  
(2)第4次恵那市障がい者計画・第7期障がい福祉計画等策定のスケジュールについて  
(3)恵那市障がい者計画策定のためのアンケートについて  
3 その他  
4 閉会

あいさつ

事務局(課長)	第1回恵那市障がい者計画・障がい福祉計画策定委員会の進行をさせていただく。本年度は計画の見直しの年となる。先ほど自立支援協議会で、第3次恵那市障がい者計画の事業評価見直しが行われた。次期計画となる第4次障がい者計画は、基本的な指針となる。さらに、障がい福祉計画と障がい児福祉計画が7期と3期を迎える。それぞれのサービスのボリュームや成果目標を設定し、今後の提供体制確保を図る。本年度は、第6期障がい福祉計画と第2期障がい児福祉計画の見直しということで、自立支援協議会のメンバーを策定委員会のメンバーとして進めていく。本日の資料は、資料A-1とA-2は事前送付しているが、机上にレジュメと資料A・B、A-1とA-2の一部を修正したものを配布しているため、それをもとに進めていく。引き続き、伊佐地会長に委員長を務めていただき、進行をお願いする。
委員長	恵那市障がい者計画・障がい福祉計画策定委員会を進めていく。(1)の計画の概要について事務局から説明をお願いする。

2-(1)計画概要について

事務局	資料 A に基づき説明。 計画概要について
委員長	何か質問は。
一同	≪質問なし≫
委員長	続いて、(2)第4次恵那市障がい者計画、第7期恵那市障がい福祉計画等策定スケジュールについての説明を事務局に願います。

2-(2)第4次恵那市障がい者計画・第7期障がい福祉計画等策定のスケジュールについて

事務局	資料 B に基づき説明。 第4次恵那市障がい者計画・第7期障がい福祉計画等策定のスケジュールについて
委員長	事業所ヒアリングの回答はこれから増える予定であるか。
事務局	引き続き声をかけている。直接のヒアリングの機会はないかと横光委員から事前に質問があったが、今後必要があれば直接ヒアリングをすることを検討している。
委員長	計画のスケジュール説明は以上とする。何か質問はあるか。
一同	≪質問なし≫
委員長	次に恵那市障がい者計画等策定のためのアンケートについての説明を事務局に願います。

2-(3)恵那市障がい者計画等策定のためのアンケートについて

事務局	資料 A-1 と A-2 及び一部修正資料に基づき説明。 恵那市障がい者計画等策定のためのアンケートについて
委員長	アンケートについて何か意見はあるか。
委員	障がい者アンケート4ページから5ページより、主な介助者の年齢については、介助者が家族以外の場合どのようにわかるのか。5ページの「主な介助者の悩み」は当事者・介助者どちらが記入するのか。考え方によっては記入が難しいのではないかと思う。
事務局	前は答えられる範囲で宛名ご本人に答えて頂いていた。ご意見を受けて、問 18 の主な介助者の悩みは、介助者に答えて頂きたいが、表現を変え、アンケートの後半に設問を移動し、「ここからは介助者がお答えください」と記載をするなど、答えやすいよう修正する。
委員長	答えやすいように介助者用の欄に変更することになる。 私からは性別について、「その他」について説明頂きたい。
事務局	「その他」については、答えたくない方へ配慮した選択肢として設けている。
委員長	他に意見は。
委員	対象である障がい者は、無作為抽出であるか。
事務局	障がい種別で手帳や年齢の割合から無作為抽出し、偏りのないようにする。
委員	アンケートは市にとって大切な資料となるが、障がい者とその家族にとってアンケート記入は負担がかかるため、少しでも答えやすくなるよう配慮をお願いします。 団体ヒアリングについては、手間が掛かるが、この機会に直接対面でのヒアリングを検討いただきたい。

委員長	他に意見は。
委員	発達障がいの方がこのアンケートを受け取った際に、性別の「その他」があると分かりづらいのでは。「自認する性で回答」と注意が記載されているが、むしろ「答えたくない人は『その他』に」の旨の説明の方がわかりやすいのではないか。
委員	答えたくない意味での「無回答」という欄を見かけたことがある。
ジャパン総研	性別についての回答は調査の目的によって変わり、方法も様々である。介助者に性を聞くのは国からも示されているように、介助者の性別の違いによる負担の種類や違いもあるため、それを踏まえて配慮しつつ設問設定していく。
会長	性別の部分については、検討いただくということで。他に意見は。
委員	一人でも多くの方から回答いただけるように、周知の配慮をお願いいただきたい。介護保険のサービスを受けているか否かについての設問は無いのか。
ジャパン総研	検討したが、設問数の都合上削除した。アンケート以外で高齢者・障がい者の両面から現状を把握し、施策を検討していく。
委員長	今の質問について、他に意見は。
委員	当事者の団体について、どのような団体にヒアリングを検討しているのか。直接聞くことで、実態を共有できるのではいかと思う。
事務局	回答済みの団体の中でさらに確認の必要なところはヒアリングをすることを検討している。時間調整をしながら行っていきたいと思う。
委員長	ヒアリングについては、市の方に考えていただきながら、進めてもらう。 他に意見は。
一同	《意見なし》
委員長	アンケートについては以上とする。 3の「その他」について何か事務局からはあるか。
事務局	特にない。
委員長	横光委員から閉会の挨拶をお願いします。
副委員長	6年に一度、3年に一度の計画策定のため、施策の方向性や具体的なプランを決めていく重要な年となる。皆様のご尽力をお願いする。ネットだけでなく、ほかの方法でもアンケートの周知を丁寧に行うことを願う。情報の届きにくい障がい者の方へも目を向けていただき、恵那市の障がい者施策が進むことを願う。
事務局(課長)	今回頂いた意見を計画作りに反映していく。